

1回(昭2年卒)～
23回(昭24年卒)
卒業生2,835名

1回(明43年卒)～
39回(昭24年卒)
卒業生3,327名

1回(昭23年卒)～
62回(平22年卒)
卒業生27,826名



双鶴同窓会報
発行〒624-0841
京都府舞鶴市引土145
京都府立西舞鶴高等学校
双鶴同窓会
☎(0773)75-3131

編集 松田 潔
責任者 安原 良一
印刷 オガワ印刷



舞鶴国際ふ頭が完成、
海外との貿易、さらに飛躍へ



▲写真提供：舞鶴市



▲写真提供：舞鶴市

▲写真提供：舞鶴市

平成7年から舞鶴西港の下安久沖合で、整備が進められていた多目的国際ターミナル「舞鶴国際ふ頭」(愛称「みずなぎふ頭」)が3月に完成し、三月十四日、盛大に完成式典と完成記念イベント「舞鶴みずなぎフェスティバル」が開催されました。

この舞鶴国際ふ頭は、北東アジア地域との新たな貿易拠点として、国土交通省と京都府が整備をしていたもので、総事業費は約四六六億円。面積は一三、七ヘクタールの人口島で、陸地側とは、臨港道路の橋梁で結ばれています。五万トン級の大型貨物船が接岸できる水深一四メートル延長二八〇メートルの岸壁を備えています。また、一時間に約四〇個のコンテナが積み下ろしできるガントリークレーンを設置。

ふ頭内の分譲用地約五ヘクタールには、風力発電や物流関係の企業の立地が決まっています。ふるさとの発展のため、国際ふ頭をはじめとする京都舞鶴港のご利用にご協力をお願いいたします。お問合せやご相談、港の利用につながる情報提供は、京都府や舞鶴市、地元経済界でつくる一般社団法人「京都舞鶴港振興会」(電話〇七七三-七五-七-一八四)か、京都府港湾事務所(電話七五-一-一七四)、舞鶴市産業振興部みなと振興課(電話六六-一〇三七)までお願いします。

ご挨拶



双鶴同窓会会長 南 房夫

双鶴同窓会会員の皆様、日頃は

同窓会の活動にご理解とご協力を頂き有り難く厚くお礼申し上げます。

本校は、加佐郡立高等女学校開校以来、本年度創立百三年目になります。昭和二十三年高等学校の再編を機に同年十月二十七日に「双鶴」と命名され同窓会が設立されて六十二年目を迎えます。

卒業生は舞女三千三百余名、舞中二千八百余名、西高は昭和二十四年春に第一回の卒業生を送り出してより二万八千名弱を数えます。

双鶴同窓会会長は初代飯野豪三氏に始まり、瀬野尚憲氏、福田重郎氏、井関勉氏、多田卓夫氏、芦田義通氏、金村九二夫氏が勤められ、先輩が永い歴史のなかで良き伝統を築いてこられました。

その伝統は永い間に培われた校風として先生方の教育や生徒指導に生きています。落ち着いた学校

環境の中で西高の生徒は勉学に励んでいます。卒業式、卒業式後の先生方の慰勞会、新学期前の教職員の異動による歡送迎会に同窓会長がお招きを受けて出席させて頂いています。その折々に西高の先生方の教育に対する熱い想いをひしひしと感じます。

同窓会も百三年の校歴の中、舞女・舞中の先輩方は喜寿をお越えられ、先人の布石を辿りながら時代に対応し受け継ぎ更に将来に繋ぐ必要があります。

そのため
・ 高校卒の理事・評議員を拡充しました。
昨年、高校第一回から第三十回卒業生の理事、評議員の見直し拡

充作業を行い、理事・評議員を改めて委嘱・選任致しました。おかげさまで平成二十一年度本部総会は例年のほぼ倍近い百九十名の参加を戴くことが出来ました。
・ 京都、東京、阪神の各支部との連携の強化を図り、支部活動を支援し積極的な交流を深めています。

・ 同窓会名簿を平成二十二年五月、五年ぶりに発刊しました。名簿の整備は同窓会活動の根幹をなすものです。経済状況の大変厳しい中、協賛広告を頂きました方々、名簿をご購入頂きました皆様、大変有難うございました。
・ 同窓会インターネットホームページを推進します。
同窓会機関紙「双鶴」を毎年六

月に発行していますが、部数も限られ配布するにも限界があります。時代に即応しホームページの立ち上げを検討しています。これにより各支部、会員相互の交流がより深まるものと考えてます。

もとより私はその器ではありませんが、この大任を果たすべく努力致しますので、各支部長、理事、評議員並びに会員各位と関係者の皆様のご協力をお願い致します。

ことが出来ました。また、進学につきましても、粘り強く取り組んでくれて、大多数が希望の進路を実現してくれております。今後とも、同窓会の皆様方の一層の御理解・御支援をお願い申し上げます。

結びにあたり、双鶴同窓会ますますの御発展と会員の皆様方の御健勝・御多幸をお祈り申し上げます。ごあいさつといたしま

ごあいさつ



校長 倉垣 誠

向暑の候 双鶴同窓会の皆様方には

は、ますます御壮健で御活躍のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動に對しまして、温かい御理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今年の春は天候の不順や寒暖の差が激しく、過ごしにくい日々が続きました。ただそのおかげか、桜の花の持ちはよく、四月末まで楽しむことができました。

た。西舞鶴高校の庭でも、ソメイヨシノからしだれ桜、そして八重桜と様々な桜が、教職員・在校生の目をたのしませてくれました。

さて、本年四月から、「高等学校実質無償化」が実施されることになりました。ある意味、日本の高等学校教育の歴史が変

わつた年ではないかと思えます。時代が変わり、社会の様々な局面が変化する中であって、心の拠り所としての同窓会の存在は

ますます大きくなってきます。私たち教職員は「不易と流行」を一層強く認識し、地域社会の期待に応える学校づくりを進めてまいりたいと考えています。

現在、全日制では、普通科六クラス、理数探究科一クラスの一学年計七クラス、全校二十一

クラスの学校規模で、府北部の中核校としてますますその存在感を大きくしています。また、通信制では、二百名を超える生徒が在籍し、自学自習という学習形態の中で、仕事や家庭との両立を図りながら高校卒業の資格取得を目指しています。

ボランテニア活動にと様々な機会をとらえて一生懸命頑張っております。昨年度は、放送部や通信制の陸上部の生徒が全国大会に出場したり、多くの部が京都府北部地域で上位入賞し近畿大会に駒を進めたりするなど活躍しました。また、学校の部活動ではありませんが、空手道(型)個人で全国大会に出場した生徒もいます。今年度も、先輩に負けない成果を目指して奮闘しているところです。

景気の状態は回復傾向にあると言われていますが、実感はありません。昨年度の高校生の雇用状況は過去最悪と言われていました。皆様方のおかげで就職希望者は全員内定をいただく

ことが出来ました。また、進学につきましても、粘り強く取り組んでくれて、大多数が希望の進路を実現してくれております。今後とも、同窓会の皆様方の一層の御理解・御支援をお願い申し上げます。

結びにあたり、双鶴同窓会ますますの御発展と会員の皆様方の御健勝・御多幸をお祈り申し上げます。ごあいさつといたしま

ことが出来ました。また、進学につきましても、粘り強く取り組んでくれて、大多数が希望の進路を実現してくれております。今後とも、同窓会の皆様方の一層の御理解・御支援をお願い申し上げます。



平成二十一年度
総会開催

平成二十一年度評議員会が六月十四日に、舞鶴グランドホテルで開催されました。会員約百九十名が参加し、事業報告・会計報告・監査報告がなされました。



平成22年度 双鶴同窓会各支部役員

【東京支部】

支部長 山口 文明 (昭36定)
事務局 長 澤田 謙二 (昭48高)
〒160-0011 東京都新宿区若葉3-4
☎・FAX 03-3353-7165(自)

【京都支部】

支部長 小田 彬人 (昭27高)
事務局 長 瀬野 一司 (昭38高)
〒611-0024 京都府宇治市琵琶台1-15-2
☎ 0774-23-4924(自)

【阪神支部】

支部長 福田 徹士 (昭33高) 事務局
事務局
〒666-0143 川西市清和台西5-2-72
☎・FAX 072-799-3735(自)

◎定時制の会会長 植村 英人 (昭27定) 本部理事
◎通信制の会会長 河野 正一 (昭61高) 本部理事

平成22年度 双鶴同窓会本部役員

会 長 南 房 夫 (昭32高)
副 会 長 岸 本 真 澄 (昭20中) 舞 中 部 会 長
飯 尾 幸 子 (昭17女) 舞 女 部 会 長
大 滝 隆 信 (昭37高) 高 校 部 会 長
藤 岡 由 美 (昭40高) 高 校 副 部 会 長
内 藤 行 雄 (昭41高) 高 校 副 部 会 長
小 西 正 純 (昭45高) 高 校 副 部 会 長
理 事 長 林 田 光 弘 (昭40高)
副 理 事 長 斉 藤 友 幸 (昭43高)
庶 務 理 事 千 阪 宏 (昭46高) 松 田 潔 (昭56高)
野 田 和 代 (昭60高) 土 師 千 穂 (昭62高)
竹 田 友 子 (昭63高) 岡 本 健 (平9高)
水 野 寛 子 (平9高) 高 井 奈 都 (平10高)
柴 田 雪 惠 (平14高) 出 石 奈 緒 子 (平13高)
会 計 理 事 西 村 和 夫 (昭48高)
監 査 藤 田 伊 佐 雄 (昭25高)
顧 問 田 中 俊 樹 (昭36高)
倉 垣 誠 校 長
南 部 正 治 (昭51高) 全 日 制 副 校 長
北 川 鯉 平 通 信 制 副 校 長
竹 村 尚 行 (昭47高) 事 務 長
芦 田 義 通 (昭16中) 第 6 代 会 長
金 村 九 二 夫 (昭26高) 第 7 代 会 長

双鶴同窓会会計報告

平成21年度一般会計報告書

(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

I. 収入の部 ¥4,553,910円

項目	決算額	摘要
前年度から繰越	2,874,342	
入会金	1,180,000	@4,000×295名(全日制272名、通信制23名)
寄付金	300,000	高校31回卒業生より(代表 本合氏)300,000円
名簿売上収入	4,000	平成21年度版同窓会名簿売上
雑収入	195,568	懇親会御祝儀 80,000円 同差額入金 114,828円
合計	4,553,910	

II. 支出の部 ¥1,522,961円

項目	決算額	摘要
事業費	832,308	総会諸費用、各支部補助金、各支部補助金
会議費	50,000	会報編集会議
支部関係費	99,780	阪神支部総会祝儀、旅費
通信交通費	132,600	会議案内用切手など
事務局費	108,273	消耗品費・祝儀
特別会計へ繰入	300,000	寄付金 300,000円を特別会計へ振替
合計	1,522,961	

III. 残高の部 ¥3,030,949円 (次年度へ繰越)

平成21年度特別会計報告書

(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

I. 収入の部 ¥5,808,046円

項目	決算額	摘要
前年度から繰越	5,496,465	
繰入金	300,000	高校31回卒業生より(代表 本合氏)
利息	8,574	定期預金満期時の利息
利息	1,866	通帳整理時の解約利息
利息	1,141	100周年会計通帳解約に伴う利子
合計	5,808,046	

II. 支出の部 ¥ 0円

項目	決算額	摘要
	0	支出なし
合計	0	

III. 残高の部 ¥5,808,046

以上、報告します。

平成22年6月1日

双鶴同窓会会長 南 房 夫
 “ 理事長 林 田 光 弘
 “ 会 計 竹 村 尚 行

平成21年度事業報告

平成21年

4月24日(金) 第1回本部役員会 於 舞鶴グランドホテル

- (1)平成21年度双鶴同窓会役員について
- (2)総会に関わる評議員会について
- (3)平成21年度仮決算報告について
- (4)会報発行の進捗状況について
- (5)各支部より

6月8日(月) 第2回本部役員会 於 双鶴会館

- (1)総会に関わる評議員会について
- (2)平成20年度決算報告について

6月13日(土) 同窓会報「双鶴」第33号発刊(一般会員向け)

平成21年度理事会・評議員会開催

於 舞鶴西総合会館

- (1)理事会 49名
- (2)評議員会 185名
- (3)記念講演 トークショー

「波瀾万丈サムライ人生と

秘剣空中リング斬り」

ジョー岡田氏

- (4)懇親会 162名

11月8日(日) 双鶴同窓会阪神支部総会開催

於 大阪弥生会館

平成22年

1月2日(土) 高校31回生卒業30周年記念同窓会

南会長が出席 於 舞鶴グランドホテル

3月1日(土) 同窓会報「双鶴」第34号発刊(卒業生向け)

3月6日(土) 双鶴同窓会打ち合わせ会議

於 舞鶴グランドホテル

- (1)名簿原稿の校正
- (2)平成22年度総会に代わる評議員会の件
- (3)双鶴同窓会のホームページ作成について

会計監査報告

- 1 監査実施年月日 平成22年6月2日(水)
- 2 実施場所 京都府立西舞鶴高等学校
- 3 監査の対象 平成21年度双鶴同窓会会計に係わる会計帳簿、収入・支出証拠書類および保管する預金に関する事

上記のとおり監査を行った結果、帳簿、証拠書類、保管預金ともに正確に処理されており、適正であったことを報告します。

平成22年6月12日

双鶴同窓会長 様

双鶴同窓会

会計監査 藤 田 伊 佐 雄

“ 田 中 俊 樹

30周年に乾杯!

第31回卒業生

翔 (はばたき)

本年一月二日に開催しました卒業三十周年記念同窓会には、南房夫会長様、倉垣誠校長様、福田徹士阪神支部長様をはじめ恩師の先生方に御出席をいただき、同窓生百六十四名が集うなか、盛大に出来ましたことを心よりお礼申し上げます。

新年の雪の中、懐かしい顔が一堂に会し、三十年前の西高生にタイムスリップし、とても楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

卒業後、進学した者、就職した者、また今は舞鶴で暮らす者、市外で暮らす者と環境は様々ですが、同窓生が今後も健康で「翔(はばたき)」続けることを願い、また、かならず会うことを誓い合いました。

最後になりますが、実行委員、各クラス委員をはじめ、この同窓会の開催に関わってくださいました皆様に心より感謝申し上げます。

(第三十一回卒業生
卒業三十周年記念同窓会実行委員長 本合 幹)



3組



2組



1組



6組



5組



4組



9組



8組



7組



11組



10組

記念植樹の桜の下で 古稀を祝う「花見の会」 十回生「十期の会」



▲高10回 「十期会」平成22年4月13日 於 舞鶴公園

第十回卒業生（昭和三十三年卒業）は、本年、めでたく「古稀」を迎えました。これを記念し、四月十三日、三年前の卒業五〇周年のとき舞鶴公園に記念植樹した樹齢二十五年の「しだれ桜」の下に、約三十名の同期生が集い「古稀を祝う花見の会」を開催。全員で校歌を歌い、共に歩んできた人生を語り合っ旧交をあたためました。

（代表 村尾幸作）



▲高14回 舞鶴地区 平成21年8月30日 於 舞鶴グランドホテル



▲高14回 関東地区 平成22年4月3日 於 うすけぼ一日比谷店

昭和三十七年卒業生 会旗の下に集まろう
高校十四回卒業生の私たちは、十年区切りに集まってきました。が、四十周年記念の集い以降は機会ある毎に計画をして楽しい一時と思いい出に花を咲かせて旧交を温めてきました。特に還暦を過ぎてからは毎年一回以上の集いも定例化となってきました。ことから私達に欠けていた物、同窓会旗を役員が提案、作ることにしました。

絡を密にしていたこともあり、校章と一緒に入れた名前も「西高三七会」の旗です。早速昨年八月には地元での集いで会員に披露され、今年新年早々には、三七会京阪神地区の集いで、そして、四月には関東地区の会員の集いでも披露されることになりました。紫紺の生地に描かれた校章、会のマークは白色で映し出されています。これから予定をされています。五十周年記念行事、古稀を祝う会にと活用されますが、いつまでも元気に日々を過ごすシンボルになることを願っています。

高十四回事務局 田中 實



▲高14回 京阪神地区 平成22年1月24日 於 智屋

先輩、後輩親睦ゴルフコンペ開催される

三月二十六日(金)神戸三田市にある千刈カントリー倶楽部で西舞鶴高校先輩後輩の親睦ゴルフコンペが開催されました。

我々、昭和三十七卒「三七会」ゴルフ同好会の面々と六歳年上の三十一卒「八鶴会」の先輩です。

昨年秋、開催されました双鶴同窓会阪神支部総会の席上、話がゴルフのことに及び、皆さん少々お酒が入っていた状態でもあり、その時の阪神支部長の鈴木さんの年度の方々に懇親ゴルフを申し込み快くご了解いただきました。

「三七会」のメンバーに話しましたところ皆大変乗り気で開催を心待ちでしたし、先輩に負けてはならないと練習ラウンドも行いました。

「八鶴会」幹事の安部さまと連絡を取り合い、準備を進めてまいりましたが、参加者も「八鶴会」七名「三七会」十一名合計十八名となり大きなコンペになりました。当日は気温は少し下がるが、曇りのち晴れという天気予報でホットし



ながら集まりました。ラウンド前、全員一番ホール前に集合しルールの説明をしたり、個人紹介をいたしました。原田先輩より妹さんが我々と同学年にいたとお聞きし皆のあこがれの人であった原田八千代さんのお兄さんと解り、一気に親しい雰囲気になりました。



強い風が吹きまくる中でラウンドでした。結果は、チーム優勝「八鶴会」個人優勝 梅原くん「三七会」、ドラコンは、2つ共「八鶴会」ドラコンは、分け合い。上記のように完全に

各組和気あいあい楽しんでゴルフを行いました。



と思っております。ゴルフ終了後の楽しいパーティーで又の再会を約束しました。今後また皆さんの方々の参加を得てコンペができればと考えています。



遊覧船で観光案内 ボランティア

高校十四回生の市川五十一君は、土曜、日曜と祝日に運航している「海軍ゆかりの港めぐり遊覧船」で観光案内ボランティアを行って好評を博しています。この案内は、従来録音テープで行っていたため、ゆかりの場所と説明とが微妙にずれたり、また、メインである自衛艦はその日によって棧橋にいる艦が異なるため一般的な案内しかできず観光客に分かりにくい面がありました。

このため舞鶴市商工観光課から舞鶴水交会(海上自衛隊OB)左側中央が市川君

参加者
「八鶴会」安部毅、飯田康信、井口佳郎、桜井猛、鈴木滋、原田薫、増本安雄
「三七会」梅原卓雄、大江孝雄、奥村忍、児玉祥夫、城代茂樹、竹田幸雄、千河一明、富永幸記、野村克彦、山根勲、石間恵美子
「八鶴会」「三七会」懇親ゴルフコンペ 幹事 野村克彦

の会)に案内要員派遣の要請があり、昨年八月から仲間たちと一緒に案内することになりました。船の航行に合わせたタイミングの良い案内と現役時代の経験を生かした自衛艦の説明は評判も良く観光客も増加しているようです。





東京支部

昨年八月、双鶴同窓会東京支部井田邦弘前支部長が逝去されました。支部草創のころから会の発展に尽力され、今日の姿に育ていただいた井田前支部長の功績は大きく、支柱を失った思いです。これから、永年培ってこられた先輩の意思を受け継いで、山口新支部長のもと総力を結集して、会の運営を図っていききたいと思います。

さて、今秋東京支部では左記のとおり支部総会を開催致します。総会は当支部の最大の行事ととらえ、現在準備を進めているところです。

日時 平成二十二年十一月十三日(土)

会場 十二時～十五時三十分
パーティハウス

講演 Ys エステック情報ビル店
落語家 三遊亭 小金馬 師匠
(舞鶴出身)

総会の開催にあたりいつも感じること、やはり参加者が少ないことです。東京をはじめ近県在住の卒業生は、一、三〇〇名あまり、そのうち、参加者は一〇〇名前後

です。特に、若い年代の参加が少なく永年の課題であります。同郷の士が一堂に集う機会はそう滅多にありません。

ふるさと舞鶴を懐かしく思う気持ちには皆さん共通です。故郷を遠く離れ、想い出を語り合い、また新しい出会いがある。それが同窓会の良いところ。

舞鶴からで結構ですので、東京及び近郷のご友人、ご親戚の方には是非ともお声を掛けていただきませう。山口新体制になって初めての総会です。本部及び京都、阪神両支部の皆様、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(事務局長 澤田謙二)

阪神支部

阪神支部は、二年に一度の総会を開いています。昨年十一月八日に第十八回の総会を「大阪弥生会館」で行いました。昨年の様子をお伝えし、来年は多くの参加者を得て、阪神支部が益々元気になることを期待しています。

総会は約百二十名の参加者があり、母校、本部、各支部から来賓の臨席を賜り、倉垣誠校長先生からは母校の様子を紹介を受け西高の活躍振りを知ることが出来ました。

又、記念講演として、土井邦紘氏(高十回、全国臨床糖尿病学会会長)による「貴方の生活習慣と糖尿病」の話を聞きました。六十歳以上では三人に一人が糖尿病の疑



いありと聞き、生活習慣から生まれる糖尿病の怖さを教えられました。

尚、この総会で理事の改選も行われ、鈴木滋支部長(高八回)から福田徹士(高十回)に引き継がれ、組織の若返りも図って副支部長を三人から五人に増やしました。しかしこの会の悩みは、若い回生の参加がなかなか増えないということ。そのために各学年の評議員の拡充、その役割の再認識、舞鶴で毎年行われる「卒業三十周年記念同窓会」でPR等に努めています。又新しい試みとして同窓夫婦の方には会費を安くすることをしました。好評を得ています。

来年は十一月頃に第十九回総会を開くことにしています。同期生をお誘いの上、是非旧交を温めて下さい。

(支部長 福田徹士)

京都支部

双鶴同窓会本部には常々、物心両面の御支援を頂き、大変有り難く存じます。

さて当京都支部が舞中同窓会京都支部として諸大先輩のご尽力により設立されましたが、昭和十五年(一九四〇年)四月と聞き及んでいます。今年で丁度七十年をかねて、今度の支部総会は設立七〇周年記念の会として意義あるものにしたかと考えています。

先ず当時から今日までお力を頂いています。岡本道雄先生にご事情が許せばご臨席いただき、当時の思い出も含めてお話を聞かせ願えれば大変有り難く、意義のあることと思えます。

この歴史ある会を受け継いでいる私共としてはこの会を維持し、更に進展させることが使命ですが支部の活動は横這い状態であり、全員参加の建前として本部組織にならない、評議員制を作りあげることが一つの有効な方法かと思ひ、支部規約の改正も視野において実行、努力したいと考えます。

何事も理想に対する情熱と努力があれば実現すると思ひますし、少年のような感性と活力により、改革発展できると思ひます。幸い今年の支部総会は平成二十二年七月十一日(日)午前十一時～午後二時四十分迄京都駅ビル ホテルグランピア京都 五階竹取の間 に於いて開く予定です。

皆様のご支援とご参加をお願い申し上げます。
(京都支部長 小田彬人)

舞中部会

今年の四月は暦を裏切る冷え込みで、東京にも雪が降るなど大変寒かった。

舞中部会はすべて傘寿を過ぎ一回生は百歳を超えられ、まさに後期高齢者となってしまった。

輝かしい 双鶴同窓会の活動の記録は諸種の記念誌にゆずるとして、政界、学界、事業団、スポーツ等各方面で活躍された偉大な先輩も多い。歴代会長の同窓会への御貢献には本当に頭が下がるばかりである。ここでは、縁の下の力持ち的な存在で同窓会のために御尽力頂いた先輩をご紹介し、深く感謝の意を表したい。

(四回生) 小川 高氏は諸種の記念誌の発行には無くてはならぬ先輩であった。

(九回生) 四方重衛氏は西高校歌の作者。結婚相談所で随分お世話になった。

(十回生) 河野卓男氏は同窓総会でファッションショーを盛大に行って頂いた。引き揚げ祈念館建設の提起者である。

(十二回生) 岸田秀男氏は舞中・舞女のビデオ「嗚呼舞中」「花すみれ」の作者。

(十八回生) 佐藤吉正氏は舞中同窓会の「戦争死没者名簿」の作成を提案され、数年に渡ってポケットマネーから寄金をお寄せ頂き七十万円にもなり、慰霊

の音楽祭を盛大に持つことができた。

(十八回生) 井田邦弘氏は東京支部の設立。支部報「いわし雲」の発行。総会、各支部総会には毎回欠かさず参加された。

(十八回生) 柴田東斗氏は京都支部の活動、校章旗の作成等大変お世話になった。

忘れられない諸先輩方の骨身を惜しまぬ御尽力があったればこそ、今日の双鶴同窓会の隆盛があることをここに心からお礼申し上げます。

愛宕山の蒼穹に、千の風になって後輩激励のエールを送ってください。

後になりましたが、編集にあたられたみなさん本当にご苦労さんでした。

(舞中部会 岸本真澄)

舞女部会

異常気象のもと春は訪れ、舞女の跡地と西高の中院に植えられている「舞女の梅」は百年近い寿命を保ち、今年も白い花を沢山咲かせました。校章として私達の胸に飾られた思い出深い花です。三千余名の卒業生を数えた府立舞鶴高女の最後の卒業生もはや喜寿を過ぎ、双鶴同窓会の行事に参画出来ないことを済まなく思っています。

舞女の同窓会としての行事や会合をもつていませんので、私事で恐縮ですが、第三十一回卒業(昭和十六年)の私達は戦中、戦後の悲惨な時代を除き、毎年「花すみれ会」の名のもと各地で同級会を開いてまいりました。昭和十五年

五月の修学旅行は七泊八日の長旅、戦時下の事ゆえ武運長久を祈願して伊勢神宮をはじめとして敦賀の氣比神宮迄参拝しながら名所旧跡を訪ねましたが、その思い出の地で同級会を開きました。箱根、江ノ島、鎌倉、東京、金沢、名古屋、西では京都、丹後半島、城崎、有馬、秋芳洞、博多、別府では恩師にお会いしました。

卒業五十周年では古稀を控えながらも皆元気で七〇%の出席率、全国各地から舞鶴に集まりバスで在学時代とは随分変貌をとげた市内を見学して廻りました。西舞鶴高校では同窓会の先生のお話や、校歌碑、「舞女の梅」を見て廻り、現在は城北中学校になっていきますが旧舞女を訪ね、模型や跡地の梅の木を見せてもらいました。引揚記念館、途中の町並の変わり様に驚きの声や歓声が上がりました。黒谷和紙を見学し祈念の買物を致しました。五十年の思い出を綴った文集「はなすみれ」を刊行し私達の貴重な蔵書となっております。

傘寿を前に六十周年の集まりを切りに全国的な同級会を解散し、現在では年に二回府内にお住まいの人に声をかけ小さな同級会を開き饒舌を楽しんでいます。

ひとせ
・一年の饒舌をここに花咲かせ姥桜たち女学生にもどる

(舞女部会 上羽玉枝)

卒業三十周年を記念して例年各学年の同窓会が開催されていますが、本年は第三十一回卒業の方々の同窓会(昭和五十四年卒業)でした。一月二日に舞鶴グランドホテルにて、倉垣誠校長先生、各クラス担当の恩師、南房夫同窓会長、福田徹士阪神支部長をお迎えし同窓生百七十三名の方々の参加を得て盛大に行われました。

懐かしい交流の中で例年にならぬ双鶴同窓会に多額の寄付をいただきました。ありがたうございませす。大切に活用させていただきます。

また本会報三十四号(昭和五十二年発行)は昭和五十三年卒業の有志の方々の編集となっております。ありがたうございませす。

双鶴同窓会も一昨年に六十年(還暦)となり、これまで評議員・理事として活躍していただいた舞女部会・舞中部会・高校部会初期の方々が高齢のため段々と引いていかれるようになりました。この歴史と伝統ある双鶴同窓会を将来に引き継ぐため、

一つは高校第一回から第三十回卒業まで特に第二十回以降の若い世代の方々に理事・評議員として活動していただく事になりました。二つに卒業三十周年同窓会開催の卒業年度の方も評議員として加わって頂く事にしました。今年度は五十四年度で第三十一回卒業の方々に評議員会に参加していただきました。

高校部会

定時制の会

双鶴同窓会会報「双鶴」は今回で三十四号となります。現在二千部発行して会員の皆様にお届けしています。しかしごく限られた範囲となっており双鶴同窓会の会員皆様を結ぶツールとしては十分ではありません。そして「会報」は年一回の発行ですからある意味結果報告的なものとなっています。これからのツールは現在進行形のものから結果報告のものまで広範囲に包括し、且つ会員一人一人の声まで反映できるものにできたらと考えております。

インターネットを利用し「掲示板」や「ブログ」を開設していく事が会報の一つの形となるのではと思います。

さて今日までに高校教育の改革はたくさんありましたが、二〇一〇年三月三十一日高校授業料無償化法が成立し、翌日四月一日から施行実施される事になりました。

義務教育の小中学校教科書無償化に次ぐ教育史上画期的な事です。考え方は賛否色々ありますが教育の機会均等が一層進み、これからは経済的理由で高校に進学できないという悲しい事はなくなると思います。少なくとも卒業式に授業料が払えないからと卒業証書を授与されないという悲劇は無くなると思います。

次回の情勢はどうなっているのでしょうか。

双鶴同窓会の活動に今後ともご協力賜りますようお願い申し上げます。

(高校部会 大瀧隆信)

今期も定時制同窓会行事としての動きはありませんでした。今年二十二年には第六回総会を開催する予定でありますが、諸般の事情で成り行きに任せます。今年も世界中が地球温暖化の影響を受けて異変を起こしております。何時も地球環境異変と言われつつありますが、国連気候変動サミットで温室効果ガスを二〇二〇年までに一九九〇年比二五パーセント削減することを国際公約として明示されております。

行政もCO2の排出量を抑えるため、次のような補助を行っております。○エコカー購入補助及び減税 ○省エネ家電エコポイント制度 ○住宅用太陽光発電補助金と余剰電力の買取り制度等実施されております。人間が地球上で生きて行く上には地球温暖化防止に協力して、低炭素社会を築き、美しい地球を未来に引き継いで行こうではありませんか。

(定時制の会 植村英人)



頑張ってます部活動

- *サッカー= 第88回全国高校選手権府予選
男子 ベスト16
- *ソフトテニス= 近畿高等学校ソフトテニス選手権大会
男子 団体出場
近畿高等学校インドア選抜大会
女子 個人 松田・海老原組 出場
- *バスケットボール= 全国高校選抜優勝大会京都府予選
女子 ベスト16
- *バレーボール= 全国高校総体京都府予選
男子 出場 女子 出場
- *ソフトボール= 第54回京都府公立高校大会
女子 3回戦進出
- *硬式野球= 春季京都府高等学校野球大会
男子 2次戦出場
- *卓球= 京都府高等学校卓球選手権夏季大会
男子 個人上級 亀井 ベスト16
- *バドミントン= 近畿大会府予選
男子 シングル ベスト8
- *剣道= 京都府高等学校剣道選手権大会
男子 団体 3回戦進出
- *体操= 京都高校春季選手権大会
女子 個人 佐々木亜美 10位
- *柔道= 第32回京都府公立学校柔道大会
男子 団体 1部 3位 2部 準優勝
- *水泳= 京都高校秋季室内水泳大会
女子 50m自由 6位
- *陸上競技= 第44回京都高校ジュニア陸上競技対抗
男子 やり投げ 2位



卒業生の進路状況

同窓会員の皆様、日ごろは生徒の進路状況にお心配りをいただきありがとうございますとございます。平成二十一年度は二七三名が卒業いたしました。

就職では二十一名が民間就職、六名が公務員採用という結果でした。内定率は一〇〇%です。求人数は前年比七五%の約二七〇件

母校Report

で、地元求人はいまや厳しくなっています。二年生三学期より就職対策講座を開設し、三年生からは毎週金曜日の放課後実施し、担当者はアイデアを絞りさまざまな具体的対策を図っています。会員の皆様にも是非お力添えをいただきますようお願いいたします。



進学については、担任を中心にかみ細やかな指導を行いました。国公立大学は、東京大学一名、京都大学一名、神戸大学三名、京都教育大学二名など、三十七名が合格し、三十六名が進学しました。現役で医学部医学科(和歌山県立医大)の合格者が出たことは特筆すべきことだと思えます。私立大学では、関関同立をはじめ関西地域の有名私大への進学実績を残しました。関東方面への受験者も増えました。早稲田、慶応、上智、中央、法政、など合格者が出ました。私立大には一〇一名が進学しました。(合格者数のべ一三二一名) 専門学校等

へは五十三名が進学しました。昨年度は最後まであきらめずに努力した生徒たちの成果がすばらしかったです。関西圏の私立大学の三月入試で合格者が出ました。就職試験の一次不調者も自分が働きたいと思える求人があるのを粘り強く待ち続けた者がいました。

また、最近はいよいよ高い目標にチャレンジする生徒が増えました。行ける学校ではなく生きたい学校を目指すという強い信念を抱く生徒も出てきており、安易な方向に流れることのない西高魂を感じさせてくれます。しかし、残念なこともあります。大学受験に合格したものの授業料が納入できなかったり、家庭の事情で家族と離れて生活することができなくなったりして、入学を断念せざるを得ない卒業生も出ました。

全入時代といわれる大学受験ですが、大学側も選ばれる大学を目指しさまざまな工夫を凝らしよい学生を集めており、大学間格差が生まれていきます。難関大学への進学は厳しくなっている現状です。アメリカ発の金融危機をはじめとする世界的不況の中、就職を志す者には向かい風ばかりです。会員の皆様には、今後とも後輩たちに温かい御支援をお願いいたします。

進路指導部長
水野法隆

進学 231人			就職 27人		
	男	女	計		計
大学	90	47	137	府内	5
短大	1	26	27	舞鶴市	14
専門	24	43	67	公務員	13
				男	7
				女	7

同窓会「会員名簿」 平成二十一年度版を発売

理事長 林田光弘

会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会運営にご支援ご協力頂きまして有り難うございます。

さて、本同窓会は、会員総数三万四千名弱の大きな規模となり全国各地で活躍されております。当同窓会では、「会員名簿」発行と会報「双鶴」の発行は、同窓会の事業の柱となっております。

この度、会員の皆様のご協力によりまして、五年ぶりに平成二十一年度版の同窓会「会員名簿」が本年五月に発行されました。この「会員名簿」から会員相互の強い絆が生まれ、歴史と伝統が築かれていくものと確信しております。ぜひ、ご購入いただき会員相互のコミュニケーションの基となることを願っております。また、今回の「会員名簿」発行

に際しまして、当同窓会が名簿作成委託会社「サラト」以外の会社から、会員の皆様に名簿購入と代金の振り込みの依頼が発生し、ご迷惑をお掛けしているようであり、同窓会として遺憾に存じております。

当同窓会では「会員名簿」の販売は同窓会員に限らせております。また、当同窓会は「会員名簿」作成委託会社の「サラト」を通じて、同窓会会長の写真を掲載した同窓会長名の文書で、会員の皆様の名簿記載内容の確認やご購入のお願いをしております。その他の会社からの依頼には、お気をつけてください。後になりましたが会員の皆様の今後益々のご健勝とご活躍をお祈り致します。

先輩より寄贈

多くの先輩が各方面で活躍され、毎年著書等を寄贈していただきます。その一部を紹介いたします。

村尾幸作まいづるフォト歳時記

「ふるさとの光」(自費出版)

—まいづる100物語—

第一章 四季を歩く

第二章 まいづる100物語

第三章 桜トンネルこの一年

村尾幸作氏(高十回卒)



あなたの思いが舞鶴をかえる 舞鶴市から「ふるさと納税制度」による 「寄付のお願いです」

平成二十一年に個人住民税の寄付金控除が大幅に拡大され、舞鶴市へご寄付いただいた場合、一定の限度額まで全額税額が控除されることになりました。

舞鶴市では、この「ふるさと納税制度」を活用し、市外在住の舞鶴ご出身の皆様に対し、ご寄付を通じて「舞鶴の歴史と文化を活かした個性豊かなまちづくり」への

ご協力をお願いしています。

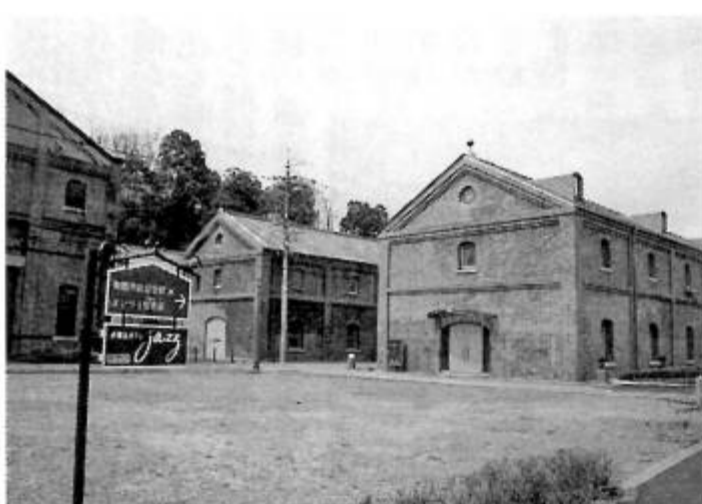
具体的には、①城下町の歴史を活かしたまちづくり事業 ②海外引揚げの歴史を語り継ぎ平和の尊さを発信する事業 ③赤れんがパ

ーク整備事業の3つの事業の経費に充当させていただきます。

まずは、舞鶴



市役所企画政策課へお問い合わせください。「寄附申込書」をお送りします。必要事項をご記入いただき、郵送、FAX、電子メールのいずれかでお送りください。



舞鶴市役所企画政策課
〒625-8555 舞鶴市北吸1044
電話 0773-66-1042
FAX 0773-62-5099
E-mail: plan@post.city.maizuru.kyoto.jp

(写真提供：舞鶴市)



西舞鶴の街の礎を築いた細川幽齋公が亡くなつて今年で四百年 記念行事を実施

福田 豊明 (昭和五十三年卒)

舞鶴市や市民団体では、田辺城主・細川幽齋(藤孝)公(一五三四〜一六一〇)が亡くなって、今年(二〇一〇年)で四〇〇年目という節目の年に当たるのを記念して、田辺城を築城し、西舞鶴の街の礎を築くとともに、数々の文化の足跡を残した幽齋公の生涯と功績を偲び、歴史を活かしたまちづくりの契機とするため、記念事業を実施されることになりました。

戦国時代の武将・細川藤孝(幽齋)公は、その子忠興とともに、織田信長の命により、丹後地方一帯を攻略・領有し、藤孝は、居城として現在の舞鶴公園を中心とした地に田辺城を築城しました。同時に城下の町割りを行い、各地から商人や職人を呼び寄せ、城下町を形造りました。

また幽齋公は、歴戦の勇将であ

つたばかりでなく、当時第一級の文化人でもありました。和歌に通じ、古今和歌集の注釈の秘伝を伝える「古今伝授」の継承者になるとともに、古典、茶道、料理、音楽、刀剣鑑定など、あらゆる学芸に通じたマルチ人間でした。

慶長五年(一六〇〇)、関ヶ原の戦いの前哨戦となった田辺城の戦いでは、わずか五〇〇人の味方とともに田辺城に立て籠もり、約一万五千人の西軍を五〇日以上も引き付けたままにして、東軍の勝利に貢献しました。

記念事業では、細川家第一八代当主の細川護熙氏(元総理)の夫人・細川佳代子さんを迎えて講演会が開催されるほか、熊本への市民訪問団の派遣、熊本から舞鶴訪問団を受け入れるなど、様々な行事が行われます。



▲写真提供：舞鶴市



▶写真提供：舞鶴市

「双鶴会館」

ご利用下さい！

- ★同期会・クラス会・幹事会など同窓生の集合にご利用下さい。
- ★記念誌・写真・その他会館の資料整備に御協力下さい。
- ★同期会開催のとき校章旗・同窓会報の必要部数をお申し出下さい。

訃報

謹んでご冥福をお祈りします。

井田邦弘様

(前東京支部長
支部長日7月21日14年間
平成21年8月12日没
(享年84才)
大正15年8月12日生
(本部確認済のみ)

編集後記

三十年ぶりの同窓会では、懐かしい面々と時間がたつのも忘れ近況や、思い出話に花を咲かせました。また、改めて、脈々と続いてきた、母校、西舞鶴高校の伝統の重さを感じた次第です。

オリオンピック
イヤーに再会
を誓い、名残
を惜しみなが
ら同窓会をお
開きとしまし
た。



双鶴同窓会
会報第三四号
を発行するに
あたり、会長
様、理事長様
をはじめ、諸先輩方より原稿を頂きさ
らに担当の先生方のご協力を頂きました
ことに厚く感謝し、御礼申し上げます。
最後に、母校並びに双鶴同窓会の益
々の発展と、皆様のご多幸を心よりお
祈り申し上げます。

編集委員(昭和五十三年卒業)

安原良一 西野和良 石原雅章
福田豊明 工藤秀樹

京都府立西舞鶴高等学校 双鶴同窓会会則

- 第1条 本会は双鶴同窓会という。
- 第2条 本会は本部を西舞鶴高等学校におく。会員多数在住の地には支部を設けることができる。
- 第3条 本会は会員の教養を高め、相互の親睦を図ると共に母校の発展を援助することを目的とする。
- 第4条 本会は次の会員および客員を以て組織する。
1. 会員 (イ)舞鶴高等女学校、舞鶴第一高等女学校卒業生
(ロ)舞鶴中学校、舞鶴第一中学校卒業生
(ハ)西舞鶴高等学校卒業生
(ニ)以上の学校に在学したもので入会を希望する者
 2. 客員 1項に該当する学校の旧職員および現職員
- 第5条 本会に第4条1項に該当する会員による舞女会、舞中会、西高会の3つの部会をおく。
- 第6条 各部および支部の会則は別に之を定める。
- 第7条 本会に下記の役員をおく。
1. 会長 会員の中から総会で選出する。
 2. 副会長 各部会において選出された部会長をこれに充てる。
 3. 理事長・副理事長 理事の中より各1名会長が委嘱する。
 4. 庶務理事・会計理事 理事の中より各々若干名会長が委嘱する。
 5. 理事 評議員の中より適当数会長が委嘱する。
 6. 評議員 各会において互選により1名以上選出する。
 7. 監査 会員の中から総会で選出する。
- 第8条 役員の仕事は次の通りとする。
1. 会長は本会を代表し会務を総理する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代わる。
 3. 理事長は会務全般を処理する。副理事長は理事長を補佐し理事長事故あるときはこれに代わる。
 4. 庶務理事は庶務を処理し、会計理事は会計を処理する。
 5. 理事は理事会において総会附議事項を審議する。
 6. 評議員は評議員会で必要事項を審議する。
 7. 監査は会計を監査する。
- 第9条 役員任期は2ケ年とする。
- 第10条 本会に顧問若干名、参与若干名を置くことができる。顧問に西舞鶴高等学校長その他適当な学校関係者を会長が委嘱する。参与に元会長を会長が委嘱する。
- 第11条 本会の経費は会費およびその他収入をもってこれに充てる。
- 第12条 本会の入会に際して会費4,000円を納める。
- 第13条 本会は第3条の目的を達成するため次の事業を行う。
1. 会員名簿および会報の発行
 2. 会員の慶弔および慰問
 3. その他必要な事業
- 第14条 本会は毎年1回総会を開く。ただし、必要あるときは臨時総会を開くことができる。総会が開けぬ場合は評議員会の決議を以て之に代えることができる。
- 第15条 会員は転居、学校卒業、就職、その他身上の変動を遅滞なく本部に報告するものとする。
- 第16条 本会会則の変更は総会の決議による。
- 付 則 ①改定:第14条末尾の「部会は毎年1回これを開く。」を削除する。(平成21年6月13日)